

質問者	質問事項	質問要旨	答弁者	答弁要旨
仲村 昌慧	職員の意識改革について	町長は就任当初から「役場は住民に対する最大のサービス産業である」「役場職員が変われば久米島町が変わる」「やる気があれば空をも飛べる」という考え方で、職員の意識改革に取り組んできたが、町長の思い描く職員の意識改革がどの程度改善されたか、職員の意識改革について、町長の見解を伺う。	町長	職員の意識改革がどの程度改善されたかということについては、職員の意識改革の結果、これまでできなかったことができるようになったという施策の成果となって現れてきますので、施策の成果を意識改革の指標として見るができると思います。これからすると職員の意識改革は、かなり改善はされていますが、まだ改善の余地は多く残っているものだと思います。
仲村 昌慧	久米島高校園芸科存続について	久米島高校園芸科の廃止については、久米島町が高校との連携による島の発展につながる事業案を提示したことで、実施時期を平成24年度開始の前期計画から平成26年度の中期計画に延期になった。実施時期までに定員を満たした場合は、計画を見直すという。入学者を増やすことについては、これ以上先送りすることはできない。待ったなしである。短期間内に結果が求められており、早急に取り組まなければならない問題である、町の取り組みについて伺う。それから、入学者を増やすために島根県の隠岐島前高校では県外から積極的に募集を行った結果、平成24年度は県外から21名の生徒が入学して、7年ぶりに2学級に戻っている。久米島高校も県外からの募集を検討する必要があると思うが、沖縄県は県外からの募集ができないと聞いている。制度上の規制があるのか伺う。	教育長	久米島高校の活性化を図るため、県へ教職員人事要請、又、海士町の島前高校視察調査やハワイ州を訪問しグローバル人材育成計画に関する調査の中で、久米島高校とハワイ州の公立高校が姉妹提携ができないか意見交換しておりますので関係機関と協議し取り組んでいきます。また、県外募集につきましては、沖縄県立高等学校入学選抜実施要項の定めで、志願者が県外からの場合、沖縄県教育委員会教育長の許可及び身元引受人の同意があれば久米島高校も可能となります。
幸地 猛	町制運営について (1)合併10周年記念式典及び祝賀会の持ち方について (2)行政改革推進について (3)町民視点による事業棚卸の実施について	(1)合併10周年記念式典及び祝賀会は全町民で祝うべきだったと思うが、案内者の範囲は？ (2)行政改革推進委員会が進められているが、委員の数はどうなっているのか。委員の推薦方法は。行政改革推進委員会の業務範囲はどこまでか。総合計画及び新町建設計画等との関連は。 (3)事業棚卸しについて、新聞報道によると県においても7割が「要改善」の評価である。町においても事業棚卸しを実施する必要があると思うか。	町長	(1)町制施行10周年記念式典及び祝賀会の案内の範囲は町内の公的な役職にある者、各種団体の役員など296名と島外の沖縄県や市町村関係者など169名です。 (2)久米島町行政改革推進委員会の設置に関する規則に基づき、委員は9名です。推薦方法は各分野、団体へ推薦依頼をし、選任しました。審議事項は町長の諮問に応じて本町の行政改革大綱及び行動プラン(仮称)の策定及び実施に関する必要な事項を審議し、意見することです。財源の厳しい状況が今後とも続きます。町の最上位計画である総合計画や新町建設計画との調整を図りながら策定していきます。 (3)事業棚卸し方式を採用するか、事業評価方式を採用するかはこれからの専門部会、部会の中で協議し、推進委員の皆様の見解を拝聴した上で決定したいと思います。
幸地 猛	福祉行政について (1)シルバー人材センターの設置について	シルバー人材センターの事業は、高齢者等の雇用の安定に寄与する事業である。町においても取り組む必要があると思うか。	町長	シルバー人材センターの事業は、高齢者等の雇用の安定に寄与する事業である。町においても取り組む必要があると思うか。
棚原 哲也	さつまいも(甘しょ)の出荷調整用冷蔵保管施設の整備を	大原地区を中心に島内で急激に生産量が増大している甘しょの収穫、出荷時期に2月頃の長雨、5、6月の梅雨期、台風襲来時の雨続きになると収穫機が畑に入らず収穫の時期をむかえた甘しょも畑で腐敗させてしまい出荷量が減少し、生産農家の経済的な損失が大きいことから長雨や台風襲来時期に早めに収穫、保管し、出荷調整が可能となることから、農家の所得向上につながるため、施設の早急な整備が必要だと思うかどう考えるか。	町長	大原地区を中心に島内で急激に生産量が増大している甘しょの収穫、出荷時期に2月頃の長雨、5、6月の梅雨期、台風襲来時の雨続きになると収穫機が畑に入らず収穫の時期をむかえた甘しょも畑で腐敗させてしまい出荷量が減少し、生産農家の経済的な損失が大きいことから長雨や台風襲来時期に早めに収穫、保管し、出荷調整が可能となることから、農家の所得向上につながるため、施設の早急な整備が必要だと思うかどう考えるか。

質問者	質問事項	質問要旨	答弁者	答弁要旨
棚原 哲也	奥武島西部海岸の保全について	奥武島の西側海岸については、イーフビーチ方向に長く砂浜が伸びていたが、海流及び潮流の変化、また台風の影響等もあり年々砂浜が北側奥武島海中道路側へ押されて奥武島の船揚場への航路及び泊から真泊への航路、また泊から南側漁場への航路へ多量の砂が流入し、航路が浅くなって船舶の航行に影響を与えている。早期に対策が必要だと思うが、砂洲の移動について調査を依頼する考えはないか。	町長	同区域については漁港区域に指定されており、管理区分は沖縄県であるので管理者と連携を図りながら漂砂調査及び航路の堆砂対策について検討致します。
宇江原 総清	鳥島射爆撃場の早期返還について	鳥島射爆撃場に劣化ウラン弾が打ち込まれてから17年になる。そのほとんどが未回収のまま米軍によって爆弾等が打ち込まれている。町長は独断で20年間使用を契約した。加えて、劣化ウラン弾の米軍による国内使用はない、また劣化ウラン弾は福島第一原発事故の放射性物質とは異なる等と米軍擁護の答弁をしている。私は、町長自身が放射性物質や放射能に対する認識や危機管理能力には失望をしている。今や劣化ウラン弾は、世界的にも原子爆弾や原発事故の放射性物質同様、人体等に健康被害を与えている事や、その実体を米国が隠ぺいしていた事が解されつつある。例えば、今年7月28日にテレビで広島県にある日米共同放射線影響研究所(ABCC)で内部被ばく資料を葬ったこと及び、低線量被ばくを認める証言を放映された。米国による被ばく隠しの一例だ。隠ぺいでは沖縄における枯れ葉剤使用を認めていなかった米軍だが、貯蔵を認める文書も見つかった。元米兵も使用証言も多くなっている。町長に伺う。町長はこれまでも米軍の劣化ウラン弾に関する隠ぺいや内部被ばくの否定を容認または擁護するのか。	町長	米軍の劣化ウラン弾に関する内部被曝について否定したことはございません。鳥島射爆撃場の劣化ウラン弾による内部被曝は、劣化ウラン弾の特性やこれまでの調査結果からないものと考えていることを申し上げてきました。今後も鳥島射爆撃場の劣化ウラン弾の問題については、放射能測定を継続して行っていますので客観的事実と科学的知見に基づいて判断いたします。
宇江原 総清	コンクリート護岸の撤去とこれに伴う潮害防備保安林等の植栽について(河川も含む)	8月初旬の大雨は、海洋深層水施設付近の海が広域にわたって赤土で汚染された。特に、これまで赤土流出が見られなかった浦地川下流や海辺にも赤土域があった。その原因は相互タクシーの事務所の上部にある畑の土手崩れによるものと見ている。町長に伺う。この崩壊した土手の地籍の測定の予定はあるのか。また、海洋深層水取水時に赤土が混入したことを調査したことがあるのか。さらには、赤土防止のための沈砂地がどのように計画されているのか。大原等のコンクリート護岸との関連ではどうか。	町長	先の台風11号通過後現場を確認しましたが、国庫補助による災害復旧事業で採択出来るような規模ではないので、現在の所正式に測量設計作業をする計画はありません。次に赤土流出防止対策については現在県の方で実施している水質保全対策事業の事業促進を強く要望しその効果に期待をしています。それから赤土流出防止対策と大原等のコンクリート護岸との因果関係は無いものと思われれます。
宇江原 総清	津波時の避難場所へ避難路の設定について	真泊地区の現行の避難路に加え真泊公民館から直接ソナミに登る旧道を整備したらどうか。真泊の住民からの要望がある。	町長	真泊地区の現行の避難路に加え真泊公民館から直接ソナミに登る旧道を整備したらどうか。真泊の住民からの要望がある。
山里 昌輝	児童生徒の島外活動について	島外往来時を含め、島外での宿泊所の確保や経費について、関係者及び保護者の負担が計り知れないと言われています。このことについて行政の認識度を確認したい。	教育長	小学生・中学生・高校生が沖縄本島、若しくは県外の場合もありますが、各種大会に参加するため、年間を通して大きな経費となり、保護者負担も重く、活動も制限せざるを得ない状況があると聞き及んでいます。今後もスポーツ・文化活動を支援する取り組みを図ってまいります。
山里 昌輝	航空路線の今後について	JTAが機種変更後、行政としてどのような要請行動を行って来たか、順を追って説明願いたい。	教育長	ジェット便廃止問題については、JTA本社長、県知事、県議会議長あてに要請を行いました。平成24年3月25日から最終便のジェット便が廃止され、RACのDHC8型機が就航しております。現在、事務レベル段階で情報収集を行っているところです。

質問者	質問事項	質問要旨	答弁者	答弁要旨
饒平名 智弘	フェリーの離島割引について	沖縄離島住民等交通コスト負担軽減事業において、フェリー運賃が那覇往復で大人3,600円となり、久米島町民はとても助かっている。しかし、現在の制度では、片道購入には適用しないとのことである。片道利用でも航空賃は適用されるのに、船運賃が適用されないのはなぜか。時間の都合上、片道は飛行機を利用する場合もあり、片道でも適用できるよう、県に要請できないか。	町長	航空運賃・船舶運賃にかかる低減については、県と会社が直接協定を結び事業を実施しております。船運賃については離島住民の生活航路としての運賃低減であり、割引率の高い往復割引のみが事業対象となっております。制度上、航路の片道運賃割引については該当しないということです。そのことについては、町村長と県との懇談会の中で要請を行っているところです。
饒平名 智弘	不妊治療への支援について	町として、不妊治療にどのような支援をしているか伺いたい。	町長	現在、医療保険が適用されない体外受精及び顕微鏡受精の治療を受けている方へ助成を行っています。
饒平名 智弘	町長の答弁や公約について	町長の議会での答弁や公約をどのように思っているのか伺いたい。	町長	町長の議会での答弁や公約をどのように思っているのか伺いたい。
玉城 安雄	水源地流域の土地利用の現状と計画について	<p>水は命の源とされています。上水道の整備と普及率の増加と共に、人間の寿命ものびているのも現実であり水は我々人間が生きていくうえで、最も重要な物であるといえます。本町においても、上質な飲料水を住民に対して供給していると確信していますが、将来にわたる水質保全のため危惧している点を伺いたいと思います。旧具志川村の水源地域はほとんど山林であるが、旧仲里村の儀間池、比嘉池、フサキナ池の水源地域は畑地が多いように感じられます。以上のことから、次の3点を伺います。</p> <p>(1)儀間池、比嘉池、フサキナ池等の水源地域の山林畑地、草地等の概数面積はどのくらいか。</p> <p>(2)水道水の水質の検査方法とその結果はどうなっているのか(農業使用時期の変動はあるのか)</p> <p>(3)将来にわたる水質保全のため、水源地域及び一帯の水源涵養林指定による土地利用計画の見直しはどうか。</p>	町長	<p>水道水は生活をする上で欠かすことのないライフラインであり、今後も安全な水を供給するよう、努めてまいります。</p> <p>(1)の儀間池、比嘉池、フサキナ池、ウフレヤ池の流域は同一の流域であります。流域の全体面積は150,330◆、山林原野が97,130◆、農地が53,200◆で内25,330◆が草地であります。</p> <p>(2)の水質検査については農業も含め全項目を6月に毎月検査についても本島内の専門業者に委託実施しており検査結果も適合であります。毎日管理は残留塩素、色度、味等を職員で行っております。</p> <p>(3)の流域の水源涵養林指定及び土地利用計画の見直しについては、農地は涵養林として指定することは難しいと思われま。土地利用の見直しについても地主との協議が必要で強制が出来ないため、今後、儀間池の水質状況も把握しながら対処したいと思っております。</p>

質問者	質問事項	質問要旨	答弁者	答弁要旨
玉城 安雄	人口減少等、諸問題解決のため、海士町の取組を参考にしたい。	<p>去った7月3日～6日にかけて島根県隠岐郡の海士町に視察研修に参加し、感じたことを報告し、意見を伺いたい。</p> <p>(1)本町と同様、公共事業の投資で社会資本が整備され住民の生活は改善され暮らしやすくなっているが、少子高齢化による人口減少等、抱えている問題も同様である。しかし、町長の強いリーダーシップにより、賃金カットなど自ら身を削ることで徹底した行財政改革を断行し、自立への覚悟を決め、住民や職員に姿勢を示し生き残るための守りの戦略(行財政改革)と、攻めの戦略(産業、雇用の創出)を展開し、島あげでの共通認識としている。また、全国から募集した商品開発研修生、Iターン者の知恵を活用し、産業、雇用に創出し、販路開拓も彼らのネットワークを通し全国へ発信している。町が様々な事業を活用して施設を建設し若者、Iターン者の起業(賃金面も含め)を助成し外貨の獲得で島の活性化と成長を求めて実践している。さらに、地域活性化のため、産業関係の地産地商、交流促進、産業創出の3課を創設し、島の玄関口である施設内に配置し、365日体制で島を訪れる人、情報を求める人、町民のニーズに応えている。3課の3分の1の職員がそこへの出勤となっている。以上のことから、島の活性化を若者、よそ者を島興しの原動力にし、異質なものを取り入れ、多様を持つことで島の成長を促進している。行財政改革で行った賃金報酬の削減分を子育て支援、産業振興など目に見える施策に活用する条例も制定し、使い道を透明化することによって、住民、職員の意識を高めている。</p> <p>(2)島前高校の取組については、高校の存続は島の存続についての最重要課題としてとらえ、地域と高校が一体となって、島前高校魅力化の会を立ち上げ、県立高校でありながら町行政を中心とした魅力化の会の中から5名の職員を派遣し、入学者を増やすための施策や情報を発信し存続のため取り組んでいる。学校側も島を知ってもらうための地域創造コース、特進コースを設置し、県外からも積極的に募集し、島前高校及び島の魅力化を図っている。また、町の支援として、島外からの入学生に対して寮費の補助、里帰り交通費の助成、県外入学生の島での身元引受人等、町民に働きかけ、安心して入学できるよう対応している。さらに、島前3町村で高校と地域が連携しながら、学習支援ができる公営塾を設立し、様々な人材を講師に招き、人材育成のため在学中や卒業後も進学、就職について指導し、結果が出ている。やはり、高校の魅力化、学力向上についても行政、Iターン者の力も大きな原動力となっているのも事実である。！以上のことから、久米島町と同様、少子高齢化、人口減少など地方が抱えている問題が凝縮されている海士町は問題解決のため実践している。財政規模、人口など本町とは異なるが、近い将来直面する問題だと思う。先進地域として見習うべき点は見習い反映すべきだと思うが意見を伺いたい。</p>	町長	人口減少等の諸問題を解決するためには産業、福祉、教育などあらゆる視点から見る必要がありますが、海士町の取り組みは同じ問題を抱える離島として大変参考になります。人口、財政、産業の規模は異なりますが海士町を先進地として見習いながら、行財政改革及び深層水資源の複合利用高度化や久米島高校の魅力化など久米島町独自の取り組みを積極的に推進して諸問題の解決につなげていきたいと考えております。
島袋 完英	久米島高校の存続を掛けた当局の支援策について	<p>園芸科の存続猶予が5年間となっています。現状のままでは園芸科どころか久米島高校がなくなります。高校の存続は島の存続に直結します。よって早急に「久米島高校の魅力化構想プロジェクト」を立ち上げ、次の支援策をやるべきだと思うが。</p> <p>(1)プロジェクトチームに職員の派遣 (2)学生寮の建設(空き公舎でも良い)</p>	教育長	久米島高校の園芸科・普通科2クラスを維持するためには、島の子ども達が久米島高校を志望し、更に島外からも久米島高校に志望するような魅力ある学校づくりを図る取り組みが必要となりますので、久米島高校と連携し、又、視察調査しました島前高校も参考にし、支援を図っていきます。
島袋 完英	総合保健センターの建設場所について	<p>想定外の災害が頻発している今こそ、公共施設はより高い所にたてるべきでしょう。</p> <p>(1)建設場所は公立病院前の敷地が最適だと思うが。</p>	町長	<p>想定外の災害が頻発している今こそ、公共施設はより高い所にたてるべきでしょう。</p> <p>(1)建設場所は公立病院前の敷地が最適だと思うが。</p>

質問者	質問事項	質問要旨	答弁者	答弁要旨
島袋 完英	旧具志川村の繁華街の整備計画について	合併記念事業として、合併後も引き続き取り組んでいくということだったと思うが、その進捗状況は。 (1)新興通りの整備計画は。 (2)中央通りの整備計画は。	町長	(1)新興通りについては平成23年度から事業実施をしています。 (2)中央通りについては、県の整備提案と地域の要望に大きな乖離があり、現在の所整備計画の見通しが立たない状況です。
翁長 学	作物共済の更なる加入促進を	6月一般質問において、農業の支援策として質問しましたが、その中でサトウキビの不作により、農家の経営が厳しい作物共済に加入している農家は共済金である程度補償されたが、加入していない農家が多い。そのために町として、多くの農家にどう加入を勧めるか。	町長	さとうきび共済の加入促進については、重要な課題であり今後とも次のとおり取り組みを強化していきたいと考えています。 (1)関係各団体で組織する農業共済事業推進協議会を立ち上げし取り組んでいきます。 (2)OCR調査と合わせて新規加入者の促進を図っていきます。 (3)農家の共済掛け金の町補助についても当面は継続し推進を図っていきたくと考えています。